



2022-2023年度
国際ロータリーテーマ

大きな夢をかなえた
ロータリーを想像して

Rotary International District 2670
2022-2023 Governor Office
Takamatsu-City, Kagawa Pref.

RI第2670地区 2022-2023年度
ガバナー 八田 光



2023

6

vol.12

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

 6
月号


高松市男木島
眞壁陸二「漣の家」 Photo: Keizo Kioku
(作品の公開は終了しています)

高松港からフェリーで40分の男木島。
瀬戸内国際芸術祭2022で漁港にある倉庫の壁面に制作された作品。
コロナ禍を象徴するアクリル板に、海の風景や男木島でかつて飼われていた牛などが描かれている。
作品の一部は、アーティストが開催したワークショップで島民や来場者などが海のイメージを描いた。様々な色やデザインは、社会の多様性を表している。

CONTENTS

目次

ガバナー退任の挨拶	在任中は、大変お世話になりました。 八田 光	3P
ガバナー報告	国際大会参加の報告 八田 光	4P
ガバナーエレクト・ガバナーノミニー退任の挨拶	ガバナーエレクト 吉岡宏美(徳島RC) ガバナーノミニー 夏見良宏(丸亀RC)	6P
ガバナー補佐退任の挨拶		7P
地区代表幹事退任の挨拶		11P
地区委員長退任の挨拶		12P
「ロータリーの友」地区代表委員 退任の挨拶		17P
地区大会の御礼と報告		18P
4月度出席報告		20P
受賞者一覧		21P

● ガバナー退任の挨拶



国際ロータリー第2670地区
2022-2023年度 ガバナー

八 田 光

2023年6月末をもって、2022-23年度第2670地区ガバナーを退任させていただきます。第2670地区の皆様、関係者の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。今後も一人のロータリアンとして、一人ひとりのロータリアンとの親睦を深めて、ロータリーの発展と世界の平和のために行動をしたいと思えます。

皆さまの例会場やセミナーなどでお目にかかるかもしれませんが、嫌がらずに「やあ!」と声をかけていただければ大変幸せです。

2021年の元旦には、いつもの様に自分自身の今年のテーマを決めました。後期高齢者となった自分の行動として様々な機会をとらえて、また自分から積極的に行って、お世話になった方々にお礼をするという「好機行礼」です。

と、そんな時に突然ガバナーの話が舞い込みました。年初に掲げた「好機行礼」に反するわけにはいきません。引き受けさせていただきました。

在任中は、 大変お世話になりました。

そして、他の地区に比べて1年ほど遅く、2021年3月にガバナーノミニーになりました。

2021年7月～、ガバナーエレクトの時の自分テーマは「傾聴元年」です。皆さんから教えていただくことをしっかり聞いて、良い方向と思える行動を実践する努力をしました。

その時、考え方の基本となるものは、ロータリーの国際協議会 (zoom) で何度も聞いた中核的価値観 (親睦、多様性、高潔性、奉仕、リーダーシップ) でした。

この考え方は、もちろん皆さんから何の抵抗もなく取り入れられました。あとは、クラブ外の地域社会に国際社会に馴染んでいくだけです。みんなで努力しましょう!

2022年7月～、ガバナーになってからのテーマは「敬天愛人」、ますます多様な方々とお話しする機会が増えました。クラブ内、地域社会、2670地区、日本、世界には、あらゆる背景、文化、経験、アイデンティティーを持った人が居ることを改めて実感しました。

バックミンスター・フラーの言う「宇宙船地球号」を操縦するには、並大抵の相互理解では叶いません。「宇宙船地球号」の乗組員みんなが、船内の平和を願って心からの親睦をいたしましょう!

美しく豊かな地球を、未来の子どもたちに受け渡すために!!!

在任中は、大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。



● ガバナー報告

国際大会参加の報告



国際ロータリー第2670地区
2022-2023年度 ガバナー

八田 光

ロータリー 2022-23年度最後の月となりました。今年度の最終号におきましては、5月28日～31日にかけてオーストラリアのメルボルンで開催されたロータリー国際大会への参加を報告いたします。

メルボルンへ行くのは初めてですが、時差が一時間と聞いていたので、なんとなく近いなあと思っていました。しかし、実際はシンガポール空港で乗り換え3時間待ちを入れてメルボルンに着くまで約17時間かかりました。昨年の国際大会への道のり、ダラス経由ヒューストンと同じ時間です。来年は国際大会(5月25日～29日)開催都市が、シンガポールですので5～6時間で行けます。是非とも参加してください。

国際大会への参加登録は、私が出た情報では約15,000名、うち日本人は約1500名でした。2670地区からは、44名の参加をいただきました。ありがとうございます。

2750地区からは400名を超える参加、続いて2580地区、2660地区が多かったと聞いております。ちなみに、2004年に大阪で開かれたロータリー国際大会への参加者は約46,000名だったそうです。



また、ガバナーナイトには美馬RC8名、徳島眉山RC2名、高知東RC3名、中村RC3名、今治南RC2名、松山RC2名、坂出東RC2名、高松東RC2名、高松北RC6名の参加をいただきました。徳島眉山RCのご夫妻は、国際大会への参加が15回目との事でした。非常に楽しい親睦ができました。ありがとうございました。



さて、28日の開会式においては、ジェニファー・ジョーンズRI会長、ジョン・ヒューコRI事務総長兼CEO、イアン H.S. ライズリー財団管理委員長、ゴードン R. マッキナリー RI会長エレクト、ステファニー・アーチックRI会長ノミニーが登壇され、それぞれにそれぞれの方向から意義ある話をしていただきましたが、詳細は My Rotary からご覧ください。

登壇された方々の話の中には、行動計画の内容がちりばめられておりました。一世紀以上前、私たちは、人と人とのつながりを礎とする奉仕のリーダーシップという新しいモデルの先駆けとなりました。今日、このつながりは、世界に広がるネットワークとなって文化間、言語間、世代間、地域間に橋を渡し、より良い世界のビジョンを分かち合っています。私たちは行動人として、このビジョンの実現には計画が必要であることを知っています。



2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

そして、こういった行動計画を実行するためにロータリーの動きは変わりつつあると思います。今までは、RI会長もガバナーもクラブ会長も一年任期で、その間ある程度思いのままに良いことをしようと行動していたのですが、今後は将来にその役目を担う人たちとも十分に良いことの実行について話し合っ、継続できる行動計画を立て実行に移すことが必要のように思われます。

このことを考えられて、ロータリー初の女性RI会長として歴史を作ったJennifer Jones会長は、閉会の挨拶の中で、自身の会長テーマでもあるロータリーを「イマジン」(想像)することと、マッキナリー会長エレクトのテーマの要素である「希望」とを結びつけたと思います。

「昨日を想像する人はいません。また、過去に希望をもつ人もいません」とジョーンズ会長。「『希望』と『想像』とは、明日を表す言葉であり、前進を促す言葉です。互いに支えあって私たちを未来に導く道となるものです。それは継続という道です」

今後のクラブ運営に役立てていきたい言葉です。

● ガバナーエレクト・ガバナーノミニー退任の挨拶



国際ロータリー第2670地区
2022-2023年度
ガバナーエレクト

吉岡宏美

(徳島RC)

昨年7月以降、ガバナーエレクトとして様々な会議、セミナー、研修会、協議会などに出席してきました。本年1月、アメリカ・オーランドで開催された世界のガバナーエレクトが一同に会する国際研修協議会 (GETS) で、2022-23年度会長エレクト、ゴードンRマッキナリー氏から2023-24年度会長テーマが発表され、次のように説明されました。2006年タイのパーン・タリングチャン村を訪れました。津波の被害に直面した女性は、やつれた様子でしたがロータリーの支援のおかげで希望を取り戻しつつあり、美しい貝殻をくれました。また、スコットランドの最も偉大なアーティストの一人でJolomoとしても知られるジョン・ロウリー・モリソン氏がよく使用する色にも引きつけられてきました。ネクタイとスカーフの色を選ぶ過程でテーマは何であるべきかに気づき、2023-24年度テーマは「世界に希望を生みだそう (CREATE HOPE in the WORLD)」であるとの発表でした。

これを受け、求められるテーマの理解と活動計画の策定に必要な知識、実行力について学び、ワークブックにまとめ、PETS、DTTSや研修協議会等でご説明いたしました。そして、自分自身で地区ロータリーの現状をふまえ「継続と変化」や「平和と希望」について考え、地区ビジョン(案)、地区中間計画、年次計画についてご説明してまいりました。しかし、私はまだまだ知識、能力ともに未熟な状況にあります。八田ガバナーの活動からも学ぶものが多くこれからの活動の中で生かしていきたいと考えています。

パストガバナーの皆様、そして会員の皆様のご支援をいただきながら、役目を果たしてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



国際ロータリー第2670地区
2022-2023年度
ガバナーノミニー

夏見良宏

(丸亀RC)

皆様の多大なるご協力により、ガバナーノミニーとしての任期を無事終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

この一年、八田ガバナー、吉岡ガバナーエレクトのもと、ガバナーとしての在り方を初め、地区組織や運営、又、ロータリーの現状や将来等について実に多くのことを学ばせて頂きました。この学びは必ず継続性をもって繋いでいく決意です。本当に有難うございました。

地区の会合や委員会にも数多く出席させて頂きました。GETS (ガバナーノミニー研修セミナー) やDTS (地区研修リーダーセミナー)、クラブ活性化セミナーなど、日本やゾーンの緒会合にも参加し、沢山の勉強をさせて頂きました。

又、3350地区 (タイ・ベトナム・ミャンマー・カンボジア) の地区大会や、ベトナムのクラブミーティングにも参加させて頂き、現地の奉仕活動の様子も見聞きすることができました。

これらの経験の一つ一つがとても思い出深いものでしたが、その中でも特に印象に残っているのは、高松市で開催された第10回全国インターアクト研究会での徳島商業高校阿波踊り連の若さ溢れる素晴らしいウェルカムパフォーマンスでした。ロータリーの新しい時代の息吹を感じ胸が熱くなったのを覚えています。

ガバナーノミニー年度は終わりますが、「終わりは始まりの始まり」です。クラブの柔軟性、DEIが導入されロータリーは大きく変わりました。新時代を牽引する新しい形のロータリーやロータリアンが生まれる「始まりの始まり」となるのではと思うと今から楽しみです。

改めてロータリーの素晴らしさを感じたとても充実した一年でした。1年間、大変お世話になり有難うございました。

● ガバナー補佐退任の挨拶



徳島第Ⅰ分区
田中勇一
(阿南中央RC)



徳島
徳島第Ⅱ分区
澤田篤也
(美馬RC)

一年は早いものでガバナー補佐就任の挨拶回りから始まり、続いてクラブ協議会、ガバナー訪問随同行と7月、8月、9月、10月は集中的に各クラブへの訪問が続きました。その後、10月24日には地区行事にて四国八十八カ所寺へのポリオ祈願を行い、後半はコロナ禍で控えていたクラブの周年事業が徳島分区で今年度にはコロナ制限の中、徳島市内3クラブが開催されました。徳島1分区内10RCの補佐訪問、公式訪問随同行と多くのロータリアンに触れ合うことが出来、又、各クラブに於いて個性や特徴は異なりますが、クラブの歴史と伝統を重んじ、先輩ロータリアンを大切に、各クラブのプロジェクトに邁進し、例会出席を楽しみにしている姿は共通していると感じました。

八田ガバナーに随行させて戴き、ガバナーのロータリーに対する深い思いや人柄を知り、忙しいながらも楽しく、有意義な1年を過ごさせていただきました。

又、ガバナーの目標課題の1つに「海岸プラスチックごみ削減運動」で阿南3クラブ合同による海岸清掃を行う事が出来、一般、子供の参加も交え、皆様の協力を得て多数の参加により価値のある奉仕作業でした。(ガバナー月信11月号掲載)

風光明媚な阿南淡島海岸でのごみ清掃を終了後に美しい海岸を眺め爽やかな満足感に浸り今後も継続して取り組みたいと決意しました。

残念だったのはコロナ禍による3年連続のIMの中止で、消化不良の感は否めません。5月8日よりコロナ規制も緩和されたので、次年度でステップアップして開催されることを期待しています。

各クラブへの退任の挨拶はこれから始まりますが、今期、国際ロータリー第2670地区の運営を担っていただいた八田ガバナーをはじめ徳島第2分区ガバナー補佐、第1分区会長、幹事、各会員の皆様、ご協力有難うございました。

これからはこの貴重な経験と得た知識を徳島分区、クラブ内の会員に引き継いで行きます。

今後も各クラブが活発に活動されることを祈念してガバナー補佐退任の挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐の退任にあたり一言お礼を申し上げます。

2022年～2023年 八田光ガバナのもと、ガバナ補佐を拜命され、補佐研修に始まり早一年が経過しようとしています。

先日5月19日、20日久々に盛大に開催されました地区大会に出席し、八田光ガバナのやり遂げた安堵な顔を見た時に、私も肩の荷がどっとおり、緊張から解き放たれました。

私は美馬ロータリークラブ、比較的新しく会員数も少ないクラブからの排出で会員の皆様にも多大なご協力を頂き、責務を全うできたと思います。5月28日のメルボルン世界大会にも7名の会員と一緒に参加してもらえ友情に感謝しております。

去年の6月から始まったガバナ補佐訪問、ガバナ公式訪問、第二分区クラブを11月までに全て回り、地区行事、米山、徳島9クラブ会長幹事会、周年事業、全てに出席し名刺交換をさせて頂き、温かい歓迎を受けて優しく接して頂いたロータリーメンバーの皆様、本当にありがとうございました。色々な方とお話しさせて頂き、色々な考え方、生き方を学び、皆様に出会えたことは私にとって大きな収穫だと思います。

最初は、ガバナ補佐を嫌々やっていましたが、終わる頃になってロータリーの素晴らしさがわかってきた様な気がします。

5月28日の世界大会、6月の第二分区11クラブ新旧ガバナ補佐訪問、徳島9クラブ会長、幹事会に出席し、お礼の言葉を述べさせて頂き、次の笠井ガバナ補佐にバトンを渡すまでは、全力で走り切ろうと思います。

最後になりましたが、力不足な私を寛大なお気持ちで接して頂きました全てのロータリーメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

感謝を申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

● ガバナー補佐退任の挨拶



高知第 I 分区
曾我博明
(中芸RC)

日ごろより大変お世話になっております。令和4年7月1日より、約1年間にわたりまして、高知第I分区、八田光ガバナーのガバナー補佐として活動してきました。皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございます。

ガバナー補佐就任に際し、事前に研修や引継ぎを受けていましたが、具体的にどのような活動をすればいいのか、不安を抱えたまま7月より活動を始めました。

私は、他のクラブ訪問したことがほとんどなかったため、第I分区の各クラブを訪問させていただいた際、私の所属する中芸ロータリークラブと、かなり例会の運営が異なっていることに驚かされました。私のクラブでは、次第というものがありません。訪問させていただいた各クラブでは、次第どおりにしっかりと例会運営がなされており、大変勉強させていただきました。

この1年間の活動を振り返りますと、ガバナー補佐として具体的な活動ができず、八田光ガバナーへの報告も後手後手になり、公式訪問の際は、各クラブの皆様には、ご迷惑をおかけいたしました。また、公式訪問に先立って、各クラブを訪問させていただいた際、地区方針を十分にお伝えできないこともありました。四国八十八か所ポリオ根絶祈願につきましても、十分な活動ができずにいました。未熟な点や至らぬ点多々あり、八田光ガバナーほか、皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

ただただ、皆様からの温かなご協力に支えられ、この1年を乗り切ることができそうです。皆様からのお気遣いやご配慮を忘れることがないよう、心より御礼申し上げます。

後1カ月で、ガバナー補佐としての活動は終わりますが、皆様にはまたお目にかかる機会も多いと思います。皆様の今後更なるご健勝を心よりお祈り申し上げます。



高知
高知第 II 分区
門田義仁
(仁淀RC)

2022-2023年度始まってすぐの7月6日、7日に中村RC・宿毛RCのガバナー補佐訪問。その1週間後が両クラブのガバナー公式訪問と、ゼロヨンスタートで始まったガバナー補佐の任務。持久力にはいづからか自信はあるが、瞬発力にはめっぽう弱い私でありまして、不安を抱えての訪問。ところが先輩・後輩たちからのお声がけでずいぶん和むことができました。親睦の大切さを改めて知らされました。

訪問時期はコロナ感染の拡大警戒の真ただ中で、例会での仕切り板は当たり前、マスクは携行必需品。また県の警戒情報を行動の指標にされているクラブもあり、ガバナー公式訪問をズームで行ったこともありました。そんな状況下で、各クラブの正副会長・幹事、会員の皆様のご協力をいただき、ガバナー補佐としての役目を果たすことができました。皆様に感謝申し上げます。

ガバナー補佐のもう一つの重要な任務としてIMの開催があります。今年度は発表だけではなく、懇親会も含めた平常開催の形式で行われました。待ち焦がれていた親睦会が盛り上がったことは言うまでもありません。研修のみならず、会員同士の親睦にも有意義なIMとなりました。

ガバナー補佐としての1年間は、コロナ禍の活動をいかにして遂行していくか、非日常でない変化にどう対応していくか。まさに地区のテーマ「変化をもたらす人になろう!」を実践するための1年であったと思います。

クラブの大小など多様性はありますが、それぞれのクラブが独自性をもって、前進している姿勢に敬意を表して、退任のご挨拶といたします。

1年間ありがとうございました。

● ガバナー補佐退任の挨拶



愛媛第Ⅰ分区
佐々木敬史
(川之江RC)

愛媛第Ⅰ分区の皆様、分区内3クラブの周年事業への参加、10月22日ロータリー公共イメージ向上としての四国八十八か所ポリオ撲滅祈願への参加ご協力、また、2月4日川之江クラブホストの「どういうクラブに変わったらいいですか?」というテーマのIMでは、事前アンケート調査へのご協力と、当日パネラーの会長さん方や会場から3名の女性会員さんからも発言を戴き、内容の濃い3年ぶりのIMとなりました。ありがとうございました。

女性初のRI会長ジェニファージョーンズさんは「イマジンロータリー」といわれ、特に、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)へのコミットメントの強化、みんなを温かく受け入れるクラブづくりをテーマとされました。

このRI会長テーマと、ロータリーのビジョン「世界によい変化をもたらそう」を受けたわれらがガバナー八田光さんは、「変化をもたらす人になろう」をテーマに、とって解り易いDEI(出会い)というキーワードをもたらしました。

地区大会での矢野RI会長代理のお話にあったように、近年「多様性、柔軟性、を強調した大幅な改革があり、ロータリーの潮目が変わった」とのこと。

それに引き換え、日本のクラブだけは硬直性、画一性、保守性が強く残り、このままだと会員減少が止まず、2070年にはクラブの消滅が危惧されています。

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に変化し、時には革命的にならなければならない」とポールハリスさんはおっしゃったそうです。

「DEIの実践」が次年度へも引き継がれます。どうか愛媛第Ⅰ分区の皆様、引続き次年度吉岡宏美ガバナー、久米操ガバナー補佐さんへもご協力の程宜しくお願いします。



愛媛第Ⅱ分区
泉川孝三
(松山RC)

愛 媛

愛媛第Ⅱ分区ガバナー補佐を拝命し1年間、新型コロナウイルスに振り回されながらも充分とは言えませんが多くの方々に支えて頂き何とかその役割を全うできましたこと、すべての皆様に深く感謝申し上げます。特に八田ガバナー、丸井地区代表幹事をはじめ地区役員事務局の方々、愛媛第Ⅱ分区11クラブの会長、幹事及び関係者の皆様には特にお世話になり改めて深く感謝申し上げます。

さて、八田ガバナーのガバナー方針は「変化をもたらす人になろう!」です。その方針を元にガバナー補佐として各クラブを訪問するのは、少しのワクワク感と、大きな不安でいっぱいでした。しかし、愛媛第Ⅱ分区11クラブの訪問が始まると、各クラブの会長、幹事の皆様そして会員の皆様のロータリーの友情にあふれる対応に楽しい時間を過ごすことが出来ました。又、各クラブとも新型コロナウイルスにより活動が制限される中、色々な工夫をし例会運営おこなっているのを拝見させていただきました。また、制限がある中感染対策を行いつつ奉仕活動を行っていることを聞き、頭の下がる思いがし、私自身、これからの奉仕活動を見直す良き機会を得ました。

また、本年度10月に行われた「四国八十八カ所ポリオ根絶祈願」は各クラブで活動をおこなって頂いたこと、感謝申し上げます。

ガバナー補佐の重要な役割に、IMの開催があります。ここ数年新型コロナウイルスにより中止が続きましたが、本年はIMを開催することができ、松山クラブの会員各位には感謝の気持ちでいっぱいです。

この一年間、就任当初は新型コロナウイルスに振り回され、ここ数か月新型コロナウイルスも収まりつつある中、愛媛第Ⅱ分区11クラブの会員の皆様には色々な面でご協力をいただき、本当にありがとうございました。皆様今後ともよろしく願いもうしあげます。

● ガバナー補佐退任の挨拶



香川第Ⅰ分区
槇塚正福
(高松東RC)

ガバナー補佐の退任にあたりお詫びとお礼を申し上げます。

私は、当初ガバナー補佐の役割として、「ガバナー並びに地区委員会」と「分区内各クラブ」とのパイプ役になればと考えておりました。

しかし、ふたをあけてみますと、すでに地区委員会と分区内各クラブの間には繋がりがあり、また私の力不足も重なりほとんどお役に立てなかった事をまずはお詫び申し上げます。

クラブ訪問の際には会長、幹事はじめ会員の皆様には温かく丁寧に迎えて頂きありがとうございました。訪問するにあたり事前にクラブ計画書を読ませていただきましたが、ほとんどのクラブが会員増強、退会防止に力を入れているが、なかなか難しい現状を感じました。個人的な意見を述べさせて頂くと、各クラブは地域でのそれぞれの役割がありそのことを強調する活動をしないと存在価値がないと思います。もっと個性的でいいように思います。

そして改めて、八田ガバナーを始め7名のガバナー補佐様、感動と勉強の機会を与えてくれた高松東RCの皆様に感謝を申し上げます。

最後に補佐研修委員会で適切な研修をして頂いた桑原征一パストガバナーにお礼申し上げますご挨拶とさせていただきます。



香川
原 将嘉
(丸亀東RC)

ガバナー補佐という役職について堅苦しくて難しいイメージを持っていたのですが、1年間過ごしてみて、大変面白くて興味深く、楽しい仕事でした。今後のロータリー活動を行なう上でとても役に立つ経験をさせて頂けた1年間でした。

自クラブに迷惑を掛けないようにしようというスタンスで、クラブ訪問もできるだけ1人で行動しました。後で考えると、自クラブの若いメンバーを連れて行ってクラブ訪問を経験させてあげても良かったのかなとも思いました。

担当 各クラブには、就任挨拶、クラブ協議会、ガバナー公式訪問、IMのご案内、退任挨拶と5回ずつお邪魔させて頂き、各クラブの皆さまと気軽に接しさせて頂きました。昔からの知人もたくさんいて久しぶりにお会いする機会も頂き、とても楽しい訪問になりました。各クラブの特色も観て感じる事ができ勉強になりました。

IMのご案内の際には、香川第Ⅰ分区の各クラブにもお邪魔でき、色々な例会運営にも接する事ができましたし、会ったことのないメンバーの皆さんとも和気あいあいお話しさせて頂きました。

人見知りの私ですがメンバーの皆様にはフレンドリーに接して頂き、本当にありがたかったです。

今回は香川第Ⅰ、第Ⅱ分区合同インターシティミーティングの担当という事で、企画、運営に携わりました。八田ガバナーの意向もありIMは懇親メインで。1部は各クラブ自慢大会(5分間スピーチ)218名参加、2部は大懇親会で141名の参加で盛大に行なう事ができました。久しぶりの酒席で皆さんとっても楽しそうに親睦を深めて頂けたと自負しています。

最後まで私の事を支えて頂いた皆様には感謝します。本当にありがとうございました。

● 地区代表幹事退任の挨拶



2022-2023年度
地区代表幹事
丸井一馬
(高松北RC)



ガバナー事務所前にて

この度地区代表幹事を退任するにあたり一言御礼のご挨拶を述べさせていただきます。

昨年7月に就任をした訳ですが新年度は徳島分室の事務局員さんと雇用契約を取り交わすことが出来ませんでした。よって徳島分室で行っていた米山記念奨学と青少年奉仕の委員会の皆様には大変な迷惑をお掛けしてしまうことが予想されるスタートとなりました。しかしながら会員の皆様もご存じのとおり大きな混乱にはなりません。というのもその陰で大変な決意をもって業務に臨んでくれたお二人の事務局員さんや二つの委員会の委員長をはじめとする委員の皆様、あえてお名前は掲載しませんが突然のことにも関わらず柔軟に激務に対応して頂いたことを心より感謝いたします。

また、そのような予期せぬことの中、始まった八田ガバナー公式訪問においても各県の分区のガバナー補佐の皆様や各クラブの会長・幹事はじめロータリアンの皆様には大変お世話になり、訪問件数が増えると同時に疲れが出てくるはずの八田ガバナーも最後まで意力的に新鮮な気持ちでご訪問されたようにお見受けしました。

私も十数ヶ所随行をさせていただきましたが皆様の暖かい配慮に心地よさを感じました。改めて心より感謝申し上げます。

そして、もう一つ本年度の新しい事業に「世界ポリオデー」のイベントがありました。ポリオ根絶を四国88ヶ所のどこかのお寺で祈願を行い、そしてロータリーが世界中でポリオ根絶にどれだけ貢献しているかをアピールしてロータリーの公共イメージをアップさせましょうという趣旨でたくさんの皆様にご参加して頂きました。また、公共イメージを向上させるためのもう一つの手段として「世界の子供たちをポリオから救う」というタイトルの30分番組を制作し、四国四県でそれぞれ放送しました。

この事業には八田ガバナー年度が始まる3ヶ月前になって新たに開設することになった「ロータリー公共イメージ向上DEI委員会」の皆様準備期間の短い中、感動的にや

り遂げて頂きました。その反響はとて大きく他地区の皆様から共有して欲しいという依頼が多く寄せられました。大変うれしく思います。

八田ガバナーの地区運営方針の「変化をもたらす人になろう」のテーマから地区運営についても昨年度の大塚和助地区代表幹事から助言を頂き、次期・次々期地区代表幹事と共に運営についての意見交換と引き継ぎを年に数回行っております。今まで毎年スタートラインを引き直していたガバナー事務所の運営を練でつなげるように、バトンを渡すように出来ればと考えております。このシステムは次年度の前田康人地区代表幹事にも引き継ぎたいと思います。また、徳島と香川にあった分室事務所を廃止し、新たに委員会支援事務所を香川県高松市に設けることになりました。これにより年度をまたいで行われている継続的な事業をされている委員会のメンバーの皆様には、より一層活動がしやすくなると考えております。新しい事務所では米山記念奨学と青少年奉仕、国際奉仕とロータリー財団の4委員会のお手伝いをする事務所として新年度より業務を開始いたします。

最後にこの一年を振り返って八田ガバナーがエレクト時代の11月に初めてのガバナー補佐研修を行ってから1年半以上にわたってお付き合い頂いた8名のガバナー補佐様、最初の頃のよそよそしい雰囲気からは想像も出来ないぐらい皆様と打ち解けられたと感じています。本当にありがとうございました。

そしてガバナー事務所の運営に多大なる貢献を頂いたすべての皆様や地区幹事の皆様、ホストクラブの高松北ロータリクラブの皆様1年間ありがとうございました。

また、ガバナーエレクト事務所から通算2年間の業務に携わって頂いた副代表幹事の4名の方と事務局員様。そして何よりも寛大な心で見守っていただいた八田ガバナーに感謝とお礼を申し上げて退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

● 地区委員長退任の挨拶



会員増強・維持・
退会防止委員会
委員長
田中 勇一
(阿南中央RC)



クラブ奉仕委員会
委員長
渡辺 昌明
(高松北RC)

今年度の任期は早くも残す処あと1ヶ月となりました。

八田ガバナーをはじめ地区委員の皆様、各クラブ会長、幹事、会員増強委員の皆様、ご協力有難うございました。

今年度5月8日よりコロナ禍規制も緩和され、今後のクラブ活動は活発化されるものと期待しています。地区会員数の状況ですが、2022年5月度の会員数は2,863名で内女性会員6.8%でした。

八田 光ガバナーは、多くの目標の中でこの女性会員を10%となる様に各クラブにおいて女性の会員数の増強を掲げて訴えてきました。

23年度3月末現在の会員数はコロナ禍でありながら2,876名で13名の会員増となりました。内女性会員は207名で7%と増加しました。

現状では会員数が30名未満のクラブも数多くあり(40%)、会員の減少クラブも増え、クラブの運営が難しくなっている事情もお聞きしていますが、クラブの活力を維持する為には、常に新しい若い会員を加入し続けることが重要で、また並行して退会防止の気配りも大事であり、新会員の教育にも力を入れ、楽しく、有意義にする事が大切です。

クラブは何もしないまま1年が経過すると平均年齢が1歳上がりますので活性化に向け、積極的に若い会員の増強に努めて下さい。会員の増強はクラブ活性化の為の永遠のテーマです。

今後も引き続き各クラブの会員増を期待し、地区会員を早く3,000名に回復、維持できる事を祈念して会員増強委員長退任の挨拶と致します。

地区の各クラブの活動が調整統合され、発展成長できるように支援することがクラブ奉仕委員会の役割であろう。そしてそのためにもCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)なるものを理解し実践できればと考えておりましたが、道半ばの終わり残念に思っております。

1990年代には全国で13万人を超えるクラブ会員がいたにもかかわらず10万人を切り、現在は8万人をなんとか維持している状態です。第2670地区も同様です。女性会員の増強と若者の力を生かす活性化が大きなテーマとなります。

ロータリーが世界でそして日本で大きな役割を果たしていることは事実ですが、ウクライナでの戦争はいまだに終わっていませんし、ロータリーの本家本元であるアメリカでは格差の拡大が続いており、その格差は1920年代の世界恐慌前に近づいてきておりますことも又現実です。ロータリーの未来がバラ色というわけでもありません。日本の経済の凋落がこのままつづけば、私達日本のロータリークラブの未来も決して明るいわけでもありません。

しかし、世界が激変していようと、ロータリーは人間を信じあい、親睦を育み、この世界を少しでも住みやすい、生き心地のいい世界に近づける努力が大事ではなからうかと思っています。クラブ奉仕はその原点を支えていく立場にあります。ジュニア・ジョーンズ会長が想像(イマジン)したロータリーがいつかは現実になることを祈りたいと思います。そして希望につながることを願って、退任の挨拶といたします。

● 地区委員長退任の挨拶



職業奉仕委員会
委員長
明神三幸
(中村RC)

2021-22年度から2年間職業奉仕委員長を務めて参ったわけですが丁度、新型コロナ禍のなかでDTTS、地区研修・協議会がなく、唯一の仕事としては、地区活動方針、ガバナー月信への原稿作成となりました。その為に歴代の委員長の方々の報告書並びに深川純一先生の講義録を参考にさせていただきました。

結果的には、この悪戦苦闘が自分なりの「職業奉仕」に対する考え方が出来てきたのだと思っております。また、2019-20年度の地区研修・協議会で徳島プリンスロータリークラブの正田委員長が職業奉仕についての「解」について議論や勉強会の実践ではなく、各クラブのカラーを活かした各々の活動エリアの将来の課題に対しての委員会活動を提案されたのをよく覚えています。

「職業奉仕」の具体的な活動は、簡単なことではなく、多大なエネルギーを要することですが、「職業奉仕」を理解するには必要なことです。日本人のこの長い歴史の中で築かれてきた文化、伝統、思想のなかで培われてきた「職業奉仕」とRIの「職業奉仕」とのあいだには大きなギャップがあると思います。特にアメリカ社会のなかで、ライオンズや他の奉仕団体の大規模な寄付事業は、色々な問題の解決のインパクトとなり、社会にとっては大切なことだと思います。しかし、ロータリーの「職業奉仕」は、日本的な日々の地道な活動だと思っています。

深川純一先生の原理論のなかでいわれていることは、「職業は自分が生きていくうえで所得を得る行為で金儲けである」「奉仕とは、自分以外の世の為人の為に尽くす正反対の不可解なことです。」世の為人の為に役立つ心を持ち、職業を営むということは、倫理性のうえに成り立つという事です。商売は、適正価格の等価交換です。その中で時には満足、感謝、尊敬、信用という貨幣価値では計ることの出来ないものを得るのです。

各々のロータリークラブの基盤とする地域の経済活動についても生活の向上についても、ロータリアンの数だけの事業所があるわけです。くどいようですが、職業を営む上には、倫理が大切です。まさに「三方よし」の考え方と思います。来期委員長の三谷さんは、既に「三方よし」を実践されておられます。来期の職業奉仕委員会に大いに期待しております。



社会奉仕委員会
委員長
大杉幸雄
(中村RC)

2022-2023年度地区社会奉仕委員長を拝命致しました、中村ロータリークラブの大杉幸雄です。

2022-2023年度国際ロータリー会長の、ジェニファー・ジョーンズ氏の掲げるテーマは、「IMAGINE ROTARY」(想像しよう ロータリー)です。

この年度内に私たちは何を想像したでしょう。3年前より世界のあらゆる機能を停滞させたコロナウイルス感染症により、前半は地区内での事業および活動が制限されました。コロナ以前の日常には戻らないと予測され、私たちは新しい時代のロータリー活動をどのように作りあげていくのか、各クラブそれぞれが想像されたことでしょう。

あらゆる意味で歴史の転換期にいるのだということ認識すると同時に、これからの歴史の出発点は現在にあるのだということを引き継ぎたいと存じます。

さて、本年度の社会奉仕委員会の主な活動計画に、「1日一斉おもてなし遍路道ウォーク」がありました。四国遍路道、約1200Kmを地元の人を中心にそれぞれの区間に分かれて歩き、遍路道が安全か、休憩場所やトイレは整備されているかななどを点検していただきました。ご参加いただきました各クラブの社会奉仕委員長およびのロータリアンの皆様には心より感謝とお礼を申し上げます。

コロナ禍も落ち着きはじめていますが、社会は絶えず変化しています。また、ロータリーも変化しています。それに伴い、私たちも地域社会のニーズに対応しながらロータリーの奉仕活動について考え、挑戦していきましょう。

一年間ありがとうございました。

● 地区委員長退任の挨拶



国際奉仕委員会
委員長

篠田日出海
(高松南RC)

地区国際奉仕委員会は、「国際理解・国際親善」を大きな目標に次の3委員会で構成されております。

- ・ 長期交換委員会：
ロータリー青少年長期交換プログラム
- ・ 短期交換委員会：
ロータリー青少年短期交換プログラム
- ・ 国際奉仕ファンド委員会：ファンド活用国際奉仕

当期もCOVID-19のため、計画の遂行が前年度同様に困難となり上記2小委員会の青少年長期・短期交換プログラムの実施は断念・中止せざるを得ませんでしたが、今春から下火になり始めましたので次年度からの再開準備を進めてきました。

長期交換プログラムは、2023年度に入って4名の学生の長期派遣・受入を順次実施していく予定で、長期派遣学生のオリエンテーションを数度行って、今年8月以降の派遣再開準備をしています。

短期交換プログラムは、今年度6月末から3週間、米国ニュージャージー州からの学生16名を受入、次年度の7月末にはニュージャージー州へ学生15名を3週間派遣する予定で、派遣学生の選考・オリエンテーションの実施、受入ホームステイ先の募集と説明会を行っています。

国際奉仕ファンドは、徳島南RC創立50周年記念事業のエチオピア国文化財事業へ補助金を交付しました。また、「書き損じハガキ・キャンペーン」には、地区内クラブから多額の募金を賜り、「ユネスコ世界寺子屋運動」へ寄付しました。ニュージャージー州のCamp Merry Heartへの寄付募金は、COVID-19の影響で当施設が未だ閉鎖中のため募金を中止しました。

次期期首から両交換プログラムが再開され、青少年達が国際理解・国際親善で活躍されることを嬉しく思っています。会員の皆さんには、国際奉仕活動への理解や寄付へのご協力にお礼申し上げ感謝致します。



青少年奉仕委員会
委員長

荻田智子
(高松北RC)

2022年-2023年度 2670地区青少年奉仕委員会は、RI会長の「イマジノロータリー」を受け「変化をもたらす人になろう」をテーマにそれぞれの委員会が目標を掲げプログラムに即して、着実に取り組んでまいりました。

ご存知のように青少年奉仕委員会は小中学生を対象とした新世代委員会、高校生を対象としたインターアクト委員会、規定が変更されておりますが、18歳から30歳を対象としたローターアクト委員会。そして20歳以上を対象とするライラ委員会の4つの委員会で構成されております。

青少年の皆様は、それぞれのプログラムの中で友人を作り、異文化を体験し、あらゆる良いことについて学びます。

これらのプログラムは、青少年の学ぶ場であると同時に私たちが青少年と共に活動する中で共に学び、力をいただける場でもあります。

つい先日、インターアクトの会長幹事研修会が今治市にて行われました。高校生の真っ直ぐな姿に心洗われる思いがいたしました。

6月17日、18日に松山市にて実施されるローターアクト地区大会が本年度最後の事業になります。

このように様々な青少年のプログラムには、若い時期からよりよく生きるためのテーマが掲げられ自分が成長するためのスキルを磨く場が提供されます。この素晴らしいチャンスを逃がさず今を楽しみ未来に目を向けていただきたいと思います。切に願います。

あつという間の1年間でした。

4つの委員会それぞれが力を出し切り夢あふれ、心に残る事業を展開していただきました。「人を思いやる気持ち」をテーマに掲げた第10回全国インターアクト研究会の余韻もいまだ冷めやらぬ中、この素晴らしい青少年奉仕委員会が発展的継続的に前進できますことを祈念し退任のあいさつといたします。

● 地区委員長退任の挨拶



ロータリー財団委員会
委員長
赤松昭信
(高松北RC)

ロータリー財団は皆様の“寄付”で成り立っています。ロータリアンの皆様にはつね日頃から格別のご配慮を頂き心よりお礼を申し上げます。

昨年の8月末には地区補助金の各クラブへの送金に始まり、10月には次年度の管理委員会での地区の方針等をガバナー出席の元、討議して決定し、12月の新居浜、徳島で開催される管理委員会で皆様に発表しました。管理委員会は次年度に地区補助金、グローバル補助金等を申請する場合に“地区と各クラブ”との取り決めを説明する場であります。残念ながら地区74クラブの内複数のクラブの欠席が有りました。補助金事業はクラブに取って奉仕活動のまたとない機会です、又 クラブの仲間と共通の目的に一丸となる機会です。出来ましたら参加をお願いします。

12月には次年度のグローバル奨学生を1名選考しました。グローバル補助金を使用しての活動はタイ国で水と衛生関係で1件。

5月20日、地区大会本会議の日に約10年ぶりに四国学友会を開催しました。

奨学生を地区から派遣を始めたのが約50年前に遡ります。地区選出の奨学生は約150名いますが、連絡を取れましたのが54名程、出席者は25名でした。

他の地区では学友会を活発に活動している地区もあり、我が地区も活動を継続していけたらと思っております。

最後になりましたが、4月末現在ロータリー財団への寄付が未だのクラブが有るようです、この月信が配布されるまでには0クラブになっていることをお願いいたします。



米山記念奨学委員会
委員長
秋山佳弘
(丸亀東RC)

地区内 ロータリークラブの皆様方には米山記念奨学事業に対し多大なご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

今年度は、米山記念奨学会普通寄付ゼロクラブも無くなりありがとうございました。

ロータリー米山記念奨学事業は、全国ロータリアンからの寄付を財源として日本で学ぶ私費外国留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

将来、日本と世界の懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。

ロータリー米山記念奨学事業の奨学金の最大の特徴は、世話クラブ、カウンセラー制度です。奨学生は、毎月世話クラブの例会に出席して会員と交流しております。奨学金の受け取りは今年4月から振込になりました。

世話クラブの会員の一人が「カウンセラー」として、相談役となり、交流の橋渡しをしますまた、米山奨学生の対象を「救貧型」から「知的貢献型」へ転換し、人物優秀性を重視しています。

60年以上にわたる米山記念奨学事業の成果として、元奨学生すなわち米山学友と現役奨学生によって学友会が組織されています。

日本に33学友会、海外に10学友会(台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマー、ベトナム)計43学友会があります。学友会は、奨学期間終了後もロータリーとの絆を結び、学友同士の友情を深める役割をしています。このような奨学生を育てた諸先輩方に、心より感謝と尊敬した上で、次の世代に続けていかなければなりません。

ロータリー米山記念奨学事業の永続の発展の為、今後ともご支援、ご協力をお願い致します。

● 地区委員長退任の挨拶



広報・IT委員会
委員長

坂本厚子

(高松北RC)



ロータリー
公共イメージ向上DEI委員会
委員長

三浦聖人

(観音寺RC)

今年度は、八田ガバナーのご意向で、様々な事にチャレンジをしてきました。

1. ガバナー事務所公式LINEアカウントの作成

ガバナー事務所からのお知らせ、各クラブの活動を共有などを各会員みなさんに直接お知らせをして、ロータリーとしての活動に役立てていただきたいという思いから、第2670地区ガバナー事務所の公式LINEアカウントを作成しお友達追加のお願いをしました。現時点では、まだ登録者数が300人未満です。ぜひ登録をいただきたいと思っています。

2. ガバナー事務所公式Youtubeチャンネルの公開

今年度は、ロータリー公共イメージDEI委員会の活動として、「四国八十八ヶ所ポリオ根絶祈願 参拝」、「世界の子どもたちをポリオから救う」テレビ番組を制作放映をされました。ポリオ根絶祈願については、各クラブから写真や動画をご提供いただき動画を作成。また、テレビ番組の映像もご提供いただき、この2つの動画をYoutubeで公開しています。LINEと同様チャンネル登録をお願いします。

上記2つは、今後も地区内のみなさんの活動を、ITを通じて継続的に広報をしていけるような仕組みにしています。まだまだ発展途上ではありますが、地区の情報として会員の皆さんで効果があるものに育てていっていただきたいと願います。

3. マイロータリーの登録100%

2023年3月時点で地区のクラブ平均率が35.99%です。100%を目指しておりましたが、なかなか追いつく事が出来ませんでした。マイロータリーの良さを会員の皆さんに知っていただく工夫が必要であったと思います。

次年度も広報・IT委員会の委員長を仰せつかっております。反省をしつつ今年度一年間ご協力を頂きましたことを感謝申し上げ、今年度の締めくくりとさせていただきます。ありがとうございました。

今年度から発足したロータリー公共イメージ向上DEI委員会の委員長の三浦でございます。

退任の挨拶と言うことで、原稿依頼を受けましたが、実は次年度も同じメンバーで活動することになりましたので、今期の実績と感想を述べさせて頂いて退任の挨拶とさせていただきます。

今期、実施した企画は下記の2点です。

1. 四国八十八ヶ所ポリオ根絶祈願 参拝

・決められたお寺に参拝して、各クラブの実情に応じた活動をして頂きました。

2. 「世界の子どもたちをポリオから救う」と言うタイトルでテレビ番組を作成して10月23日(日)に四国4県の下記テレビ局で30分番組を放映しました。

- ・徳島県(四国放送)・高知県(RKC高知放送)
- ・愛媛県(あいテレビ)・香川県(RNC西日本放送)

実施した企画は、いずれもRI佐藤理事の『10月24日の世界ポリオデーにちなんで日本各地の地区及びクラブにおいて「POLIO—DAY」の催し物を、全員参加を目指して開催するように』と言う提唱に応えたものです。

お陰様で、74クラブ中51クラブ(68.9%)のご参加を頂き、テレビ番組と共に、全国から高評価を頂きました。

ただ、本来の目的はRIの中での評価ではなく、一般の方々からの評価がどうであったかが大事であります。

今後もロータリークラブのブランディングを高めていくために、皆様方の意見を参考に努力してまいりますので、次年度も宜しく願い申し上げます。

● 「ロータリーの友」地区代表委員 退任の挨拶



ロータリーの友
地区代表委員
真屋正明
(高松北RC)

ロータリーの友が1953年に創刊されて、本年度の2023年で70周年を迎えました。それにあわせてアーカイブが開設使用できるようになり、840冊にも及ぶ「友」のすべてを閲覧検索できることになりました。ロータリー研究に新たな光が投げかけられたこととなります。

どこから検索閲覧すればいいのか迷いますが、まずは検索で「ロータリーとは」を入れてみました。ヒットできた記事の多くが、「ガバナー座談会」でした。このコーナーでロータリーの原点が議論されていることがわかります。そこでこの「ガバナー座談会」をまずは読んでみました。キラリと光る含蓄ある言葉の数々。例えば「ロータリーの友は世界に誇る日本の教養誌」「ロータリーは人を育てる」「職業奉仕は他の慈善団体にはない」などなど。「ロータリー10徳」なるものもあって、これは勧誘に使いそうである。

「友」への寄稿をお願いしたり、「友」の記事を紹介する委員会は雑誌委員会であるが、「雑誌」という名前は「感心しないなあ」と東京本部の会議で発言したことがあった。

それに対して、「MAGAGINE」には「雑誌」の他に「弾倉」という意味もあるという返事が返ってきた。破壊力のある銃の弾を詰めるところなんですね。希望という弾を詰めるところであるという意味にとれないこともありません。「ロータリーの友」誌はそうでありたいものです。

さて、3年に亘り、「友」の地区代表をさせていただきました。友への寄稿や掲載記事の紹介など十分なことが出来ず反省することばかりですが、友誌をロータリーの友人としてもっともっと親しんでもらいたいことを願って退任の挨拶とさせていただきます。



● 地区大会の御礼と報告



2022-2023年度
国際ロータリー第2670地区
地区副代表幹事・地区大会実行委員長

新名孝司
(高松北RC)



地区大会

本年度の地区大会は高松の6クラブがコ・ホスト、高松北ロータリークラブがホストクラブをつとめさせていただきました。

地区大会の開催ホストクラブとなりますのも、数十年に一回の事ですので当然の事ながら経験もない中、またコロナ収束の見通しがいいまま計画しました。どちらにしても土壇場での影響を少なくできるよう、今回のような短縮バージョンとなりました。何を残し、何を短縮し、何を省略するか試行錯誤の連続でした。

しかしながら3年振りの、従来の一堂に会しての「face to face」の地区大会の開催が出来る可能性を抱きながら準備をし、本年度の八田ガバナーの地区運営方針でもあります「変化をもたらす人になろう!」のスローガンの元、変化・改良を恐れることな

く準備が出来ました事は今後の地区大会を運営される方々にとっても参考にしていただきたいと思います。

その中で変えることがなかったことは、来賓の皆様はじめ参加される会員へのおもてなしの気持ちでありました。RI会長代理歓迎晩さん会を会員懇親会と同時に行うことも試行錯誤の上でありましたが、幸いにも出席者数の関係で、会場の区分けがうまく進み、双方ともに事業が成立した事と思います。コロナも5月8日に感染症法上「5類」に引き下げられましたが大会出席者のマインドがどう回復しているのかも予測が出来ませんでした。懇親会の出席者が予測より少ない状況でした事は残念でありました。

本会議においては従来通り来賓に、知事・市長



地区大会



会長幹事協議会



地区大会

もお見えになり、5時間の長丁場ではありましたが、事業内容については時間の短縮を図り概ね好評であったと思います。

記念講演につきましても八田ガバナーが地区に対して望んでおられました「環境保全」をテーマにした一貫性のある講演が出来たことと思います。

また、初日に行われました記念ゴルフ大会は生憎の天候ではありましたが、高松南RCの皆様のご協力により盛大に行われました事は感謝に堪えません。

最後になりましたが地区大会開催に当たりご協力いただきました関係各位の皆様にご心より御礼を申し上げますと共に地区内ロータリークラブ会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し御礼のご挨拶とさせていただきます。



エクスカージョン
(オリーブ公園)



エクスカージョン (二十四の瞳映画村)



ゴルフ大会



地区大会



サンドアート

● 4月度出席報告

分区分	クラブ	出席率 (%)	4月末 会員数	首比増減	4月末 女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区分	徳島	97.91	80	5	6	3
	徳島東	53.18	58	-1	2	4
	徳島北	75.89	31	2	6	4
	徳島プリンス	100.00	79	1	11	4
	阿南	59.70	54	2	5	4
	阿南南	77.60	50	0	0	4
	小松島	81.25	20	2	0	4
	小松島南	65.91	22	-1	0	4
	阿南中央	63.00	20	0	4	3
	徳島眉山	63.16	12	-1	1	3
徳島第Ⅱ分区分	阿波池田	76.83	41	-1	0	4
	御所	66.41	25	-1	4	4
	鴨島	83.14	47	1	4	4
	鳴門	71.20	47	3	3	4
	鳴門中央	80.88	37	0	2	4
	徳島中央	64.42	26	1	4	4
	徳島南	76.03	37	0	3	4
	徳島西	98.92	33	1	4	3
	脇町	92.26	42	0	1	4
	阿波徳島	35.87	23	0	1	4
美馬	87.96	27	2	4	4	

分区分	クラブ	出席率 (%)	4月末 会員数	首比増減	4月末 女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区分	安芸	85.51	19	-1	2	4
	中芸	77.78	13	0	0	4
	香長	76.92	10	0	0	4
	高知中央	71.77	47	1	0	3
	高知東	100.00	55	2	7	4
	高知南	86.83	81	-2	12	3
	高知ロイヤル	93.94	23	-1	3	3
高知第Ⅱ分区分	高知	83.49	91	2	13	4
	高知西	90.24	74	0	2	3
	高知北	78.05	31	-1	2	3
	中村	80.85	55	2	7	4
	四万十	69.77	12	0	2	4
8RC	仁淀	70.59	18	-1	2	3
	宿毛	60.23	26	-1	0	4
	須崎	75.00	14	-2	0	2

分区分	クラブ	出席率 (%)	4月末 会員数	首比増減	4月末 女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区分	今治	100.00	53	0	3	3
	今治北	87.04	21	-1	1	3
	今治南	100.00	66	-1	0	4
	伊予三島	96.62	37	2	1	4
	川之江	96.53	51	2	0	4
	新居浜	88.89	66	-1	2	4
	新居浜南	83.72	16	2	3	3
	西条	93.75	25	-1	0	4
	東予	94.25	30	2	1	3
愛媛第Ⅱ分区分	北条	60.00	11	0	0	3
	伊予	85.71	36	0	0	4
	道後	90.00	27	4	2	3
	松山	84.43	68	0	4	4
	松山東	72.73	24	-1	0	3
	松山北	80.72	28	1	0	3
	松山南	94.44	54	2	6	3
	松山西	80.49	23	0	2	4
	大洲	70.07	35	-2	4	4
	宇和島	82.46	19	-1	1	3
八幡浜	90.91	24	0	0	3	

分区分	クラブ	出席率 (%)	4月末 会員数	首比増減	4月末 女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区分	さぬき	68.42	19	1	0	4
	東かがわ	86.17	24	0	3	4
	小豆島	91.26	35	6	2	3
	高松	100.00	84	-3	9	4
	高松中央	89.22	36	-1	0	3
	高松グリーン	88.68	41	4	3	4
	高松東	100.00	47	2	4	3
10RC	高松北	84.49	81	2	7	4
	高松西	66.00	40	-7	2	4
	高松南	81.68	61	4	3	4
香川第Ⅱ分区分	観音寺	90.06	42	0	4	4
	観音寺東	90.44	28	1	5	5
	琴平	93.94	11	-3	0	3
	丸亀	72.96	58	-1	4	4
	丸亀東	88.41	41	1	3	4
	坂出	100.00	40	2	1	4
	坂出東	86.59	74	-1	12	4
8RC	善通寺	83.33	36	1	0	4

	出席率 (%)	4月末 会員数	首比増減	4月末 女性会員数
74RC 合計	81.99	2,892	28	209

受賞者一覧

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



長浦保福
美馬RC



杉本一博
中村RC



白木久雄
中村RC



奥田章雄
観音寺RC

ポール・ハリス・フェロー



岡本淳一
高知東RC

ポール・ハリス・フェロー



久保田美世
中村RC



昌山 巧
観音寺RC

米山功労者
メジャードナー



泉 雅之
高知中央RC

マルチプル米山功労者



谷 俊彦
美馬RC



上田秀彦
高知中央RC

マルチプル米山功労者



丁野敏明
高知中央RC



西森明彦
高知中央RC



三谷利憲
観音寺RC



岡 千枝
丸亀東RC

米山功労者



横山文人
高知中央RC

米山功労者



市川哲司
高知東RC



佐竹義典
中村RC



上枝正幸
観音寺RC



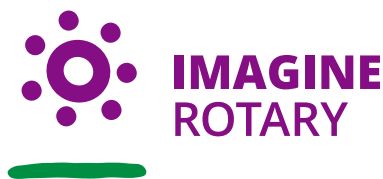
小松初子
観音寺RC

物故会員
ご冥福をお祈り申し上げます



村上益夫 (享年86歳)
徳島北RC
2023年5月19日 ご逝去





ガバナー月信を振り返って

月信の表紙に瀬戸芸展示作品を使わせてもらい印象深い月信となりました。そしてロータリーの神髄を語る名物記事があればと八田ガバナー共々、太田英章パストガバナーに随想をお願いし、9ヵ月に亘る見事な連載記事となりました。しかし、太田パストガバナーの体調もあって、ご苦労話や現在のロータリーへの箴言などを読むこと適わなくなり、本当に心残りです。印刷冊子からデジタル記事への移行による経費の節約を広報活動に向けられたことは幸いでした。度重なる訂正にお叱りを受けましたこともありました。様々な活動をもっと報告できればよかったのではと反省もあります。一年間、ロータリーの皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。(月信担当 真屋正明)

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールの一つです。日頃の奉仕活動等を以下メールアドレスへお気軽にお寄せください。

E-mail: monthly@rid2670gov22-23.jp

INFORMATION

● 物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日と顔写真
(お名前がわかるようにお願いします)をお送りください。

● 受賞者紹介について

ホームページ上の受賞者一覧にクラブ名、氏名を入力の上、
写真も氏名がわかるようにお送りください。

● 出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所へメール
またはFAXしてください。

● クラブの行事や活動状況などについて

原稿と、出来るだけ写真を添えてメールでお送りください。

送り先は、ガバナー事務所まで

国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info@rid2670gov22-23.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：丸井 一馬 / 担当幹事：真屋 正明

〒761-8071 香川県坂高松市伏石町2034-1 TEL. 087-802-8045 FAX. 087-802-8046 E-mail : monthly@rid2670gov22-23.jp

